

第3回 NIE「わたしの推し記事」コンクール 中学校 最優秀賞

嶋田 優希さん（尼崎市立南武庫之荘中学校3年）
わたしの推しは、「美味しい非常食」です！

掲載記事：神戸新聞 2025年2月19日付夕刊

見出し：普段通りの食事、災害時も 丸ごと急速冷凍「復興常備食」脚光 徳島の農家考案 味わいや食感そのまま

他人に薦めたいほど、どうしてこの記事に魅力を感じるか、この記事が広まれば社会にどんな変化があるかを書いてください（600字以内）

南海トラフ巨大地震が今後30年以内に起こる確率は80%といわれている。この大災害の襲来が確実なものだと考えている人は多いだろう。私もその一人だ。日本の、特に沿岸部に広がる都市の壊滅的な被害は避けられないだろう。迫る大災害への対処が日本の課題である。また、輸入品の流通、都市部の人口集中などによる第1次産業の衰退も課題だ。この2つの課題は、1つずつ解決する他ないと考えている人がいると思う。そんな人にこの記事だ。災害時に美味しいご飯を食べることができ、第1次産業の活性化も図れる。また、日常食も増えるのだから、とても魅力的な発明品だ。そんな「復興常備食」の利点がこの記事には詰め込まれている。災害を不安に思う人を勇気づけられる記事だと思う。「復興常備食」が広く知られると、自動販売機の設置は広範囲になるだろう。そうなれば、災害時の避難所との連携がスムーズになる。避難所で笑顔を見ることができるとも思えない。平時では、手軽に地方の農業を支援できるようになる。売上が伸びれば品ぞろえも増え、災害時にも役立つことになる。この記事が広まることで、北條さんの言葉にある「地方が都会の被災者を支える」ことが現実になり、都市と地域の結びつきは更に深まると思う。平時でも災害時でも多くの利点がある。「復興常備食」は日本の課題を解決する、一石二鳥に留まらない発明だと思う。この発明が広まることを願わずにはいられない。